

ビニール被覆処理によるほうれんそうのケナガコナダニ類の被害軽減

【1 成果概要】

太陽光を利用して地温を上げるため、ビニール被覆処理は以下のように行います。

- (1) 処理を始める前に **30mm 程度のかん水** (= 通常の播種前のかん水量) を行ってください。
- (2) **透明ビニールを地面と密着させて被覆**し、ハウスを閉切って保温に努めましょう。

被害が増大しやすい春～初夏および秋の作型に対し、処理を始める時期は **5月下旬または8月下旬**が適しています。

下記温度条件まで地温を上昇させるための気象条件

- 10 時間以上の日照時間 = 2 日連続
- 日最高気温 = 20 以上

室内試験におけるほうれんそうケナガコナダニが死滅する温度条件 (2006, 春日ら)

40 - 24 時間連続, 45 - 3 時間連続, 50 - 1 時間連続



写真1 ビニール被覆処理状況

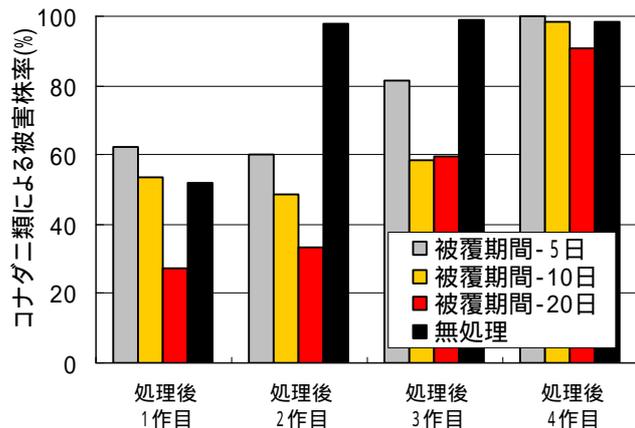


図1 5月下旬処理におけるコナダニ類の被害株率
処理開始：H19年5月20日

【2 効果】

- 1 処理後2～3作目まで、ほうれんそうのケナガコナダニ類被害を軽減します。
- 2 被覆期間が長いほど被害軽減効果が高くなります。
- 3 本技術を現地慣行の農薬散布と組み合わせることで、従来の農薬散布のみの防除よりも被害の軽減が図られると考えられます。

【3 留意事項】

- 1 実際に処理を行う際は、**天気予報を確認し、晴天日(地温が上昇しやすい日)を選択**して処理を開始します。